

# 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年10月  
福岡市教育委員会

## 目次

1	調査概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査の対象とする児童生徒	1
(3)	調査事項及び手法	1
(4)	調査の方式	1
(5)	調査日	1
(6)	集計児童生徒・学校数	2
2	調査結果と考察	3
(1)	調査結果と考察の考え方	3
(2)	教科に関する調査結果の概要	3
(3)	小学校国語の調査結果について	7
(4)	小学校算数の調査結果について	10
(5)	中学校国語の調査結果について	13
(6)	中学校数学の調査結果について	15
(7)	中学校英語（聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと）の調査結果について	17
3	児童質問紙及び学校質問紙調査の結果の結果について	19
(1)	学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況	19
(2)	小学校教育と中学校教育の連携	22
(3)	学習習慣・生活習慣	22
(4)	自己有用感、幸福感等に関する状況	23
(5)	家庭との連携	24
4	今後の課題	24
5	取組の方向性	24
(1)	各学校での取組	24
(2)	教育委員会としての取組	24

# 1 調査概要

## (1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

- 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することによって、国や全ての教育委員会における教育施策の成果と課題を分析し、その改善を図る
- 学校における個々の児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てる
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

## (2) 調査の対象とする児童生徒

- 小学校調査
  - ・ 小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- 中学校調査
  - ・ 中学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

## (3) 調査事項及び手法

### ① 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

国語、算数・数学、英語について、それぞれ「知識に関する問題」と「活用に関する問題」を一体的に問う問題形式

イ 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

### ② 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組みや学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施

## (4) 調査の方式

悉皆調査

※英語「話すこと」調査については、1人1台端末等を用いたオンライン方式により実施

## (5) 調査日

令和5年4月18日（火）

小学校調査		中学校調査	
1 時限目	国語（45分）	1 時限目	国語（50分）
2 時限目	算数（45分）	2 時限目	数学（50分）
2 時限目 終了後以降	児童質問紙 （20～40分程度）	3 時限目	英語（50分）
		3 時限目 終了後以降	生徒質問紙 （20～45分程度）

## (6) 集計児童生徒・学校数

### ①集計基準

- ・児童生徒に対する調査について、令和5年4月18日に実施された教科に関する調査及び質問紙調査の結果を集計
- ・後日実施の場合、採点及び調査結果の提供は行われるが、全体集計からは除外
- ・学校に対する質問紙調査については、在籍する児童生徒が調査を実施した学校の結果を集計

### ②集計児童生徒数（4月18日に調査を実施した児童生徒数）

#### ○小学校調査

- ・国語 12,942 人
- ・算数 12,946 人
- ・児童質問紙 13,005 人

#### ○中学校調査

- ・国語 11,562 人
  - ・数学 11,562 人
  - ・英語 11,567 人
  - ・英語「話すこと」 10,337 人
  - ・生徒質問紙 11,539 人
- ※「話すこと」を除く

### ③集計学校数

#### ○小学校調査

- ・小学校 145 校
- ・特別支援学校 1 校

#### ○中学校調査

- ・中学校 68 校（玄界中学校・きぼう中学校が対象生徒なし）
- ・特別支援学校 1 校

## 2 調査結果と考察

### (1) 調査結果と考察の考え方

本調査結果については、福岡市における調査結果を全国及び福岡県と比較して示すとともに、福岡市の過去の調査結果をもとにした経年変化からも学力の状況について考察を行う。

また、教科に関する調査結果をもとに、その要因を児童生徒に対する質問紙調査や学校に対する質問紙調査からも考察を行う。

### (2) 教科に関する調査結果の概要

#### ①教科に関する調査結果の概況

(%)

小学校調査		国語	算数
福岡市(市立)	平均正答率	65	62
福岡県(公立)	平均正答率	68	62
全国(公立)	平均正答率	67.2	62.5

○国語は全国平均を下回る。

○算数は全国平均と同程度である。

(%)

中学校調査		国語	数学	英語
福岡市(市立)	平均正答率	71	53	45
福岡県(公立)	平均正答率	70	51	42
全国(公立)	平均正答率	69.8	51.0	45.6

○国語、数学は全国平均を上回る。

○英語（聞くこと・読むこと・書くこと）は全国平均と同程度である。

## ②教科ごとの正答数分布

### 【小学校】

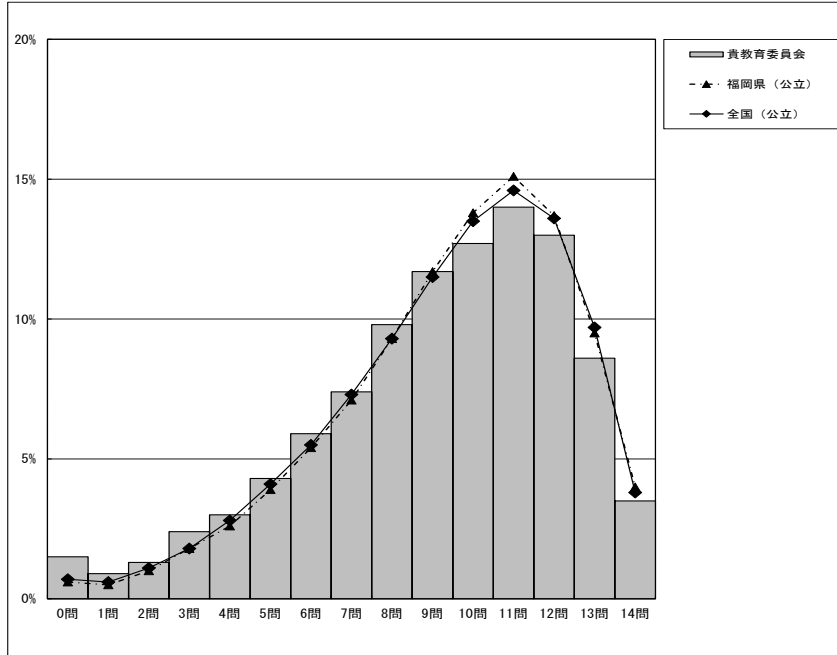
令和5年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [国語]  
福岡市教育委員会—児童

小学校調査

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
福岡市教育委員会	12,942	9.1 / 14	65	10.0	3.1
福岡県(公立)	43,025	9.5 / 14	68	10.0	2.9
全国(公立)	964,177	9.4 / 14	67.2	10.0	2.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数	割合(%)		
	貴教育委員会	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)
14問	448	3.5	4.0	3.8
13問	1,119	8.6	9.5	9.7
△ 12問	1,676	13.0	13.7	13.6
11問	1,809	14.0	15.1	14.6
◇ 10問	1,649	12.7	13.8	13.5
9問	1,516	11.7	11.7	11.5
8問	1,274	9.8	9.3	9.3
▽ 7問	961	7.4	7.1	7.3
6問	765	5.9	5.4	5.5
5問	554	4.3	3.9	4.1
4問	387	3.0	2.6	2.8
3問	307	2.4	1.8	1.8
2問	168	1.3	1.0	1.1
1問	115	0.9	0.5	0.6
0問	194	1.5	0.6	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	7.0問	8.0問	8.0問

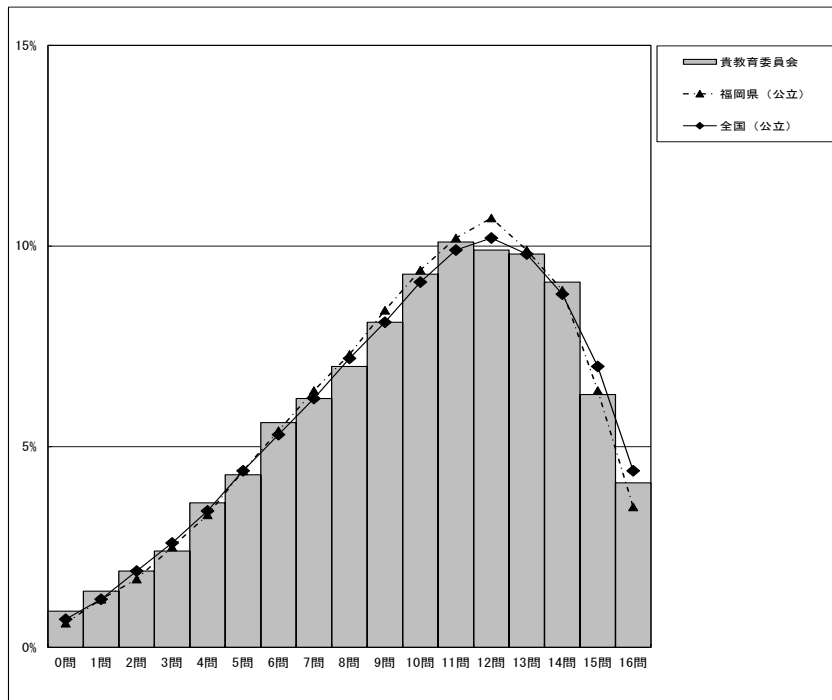
令和5年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [算数]  
福岡市教育委員会—児童

小学校調査

以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
福岡市教育委員会	12,946	9.9 / 16	62	10.0	3.8
福岡県(公立)	43,043	10.0 / 16	62	10.0	3.7
全国(公立)	964,350	10.0 / 16	62.5	11.0	3.8

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数	正答数集計値			
	児童数	割合(%)		
	貴教育委員会	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)
16問	529	4.1	3.5	4.4
15問	821	6.3	6.4	7.0
14問	1,176	9.1	8.9	8.8
△ 13問	1,265	9.8	9.9	9.8
12問	1,283	9.9	10.7	10.2
11問	1,313	10.1	10.2	9.9
◇ 10問	1,208	9.3	9.4	9.1
9問	1,053	8.1	8.4	8.1
8問	907	7.0	7.3	7.2
▽ 7問	801	6.2	6.4	6.2
6問	726	5.6	5.4	5.3
5問	557	4.3	4.4	4.4
4問	460	3.6	3.3	3.4
3問	313	2.4	2.5	2.6
2問	243	1.9	1.7	1.9
1問	176	1.4	1.2	1.2
0問	115	0.9	0.6	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	13.0問	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	10.0問	10.0問	11.0問
▽ 第1四分位	7.0問	7.0問	7.0問

# 【中学校】

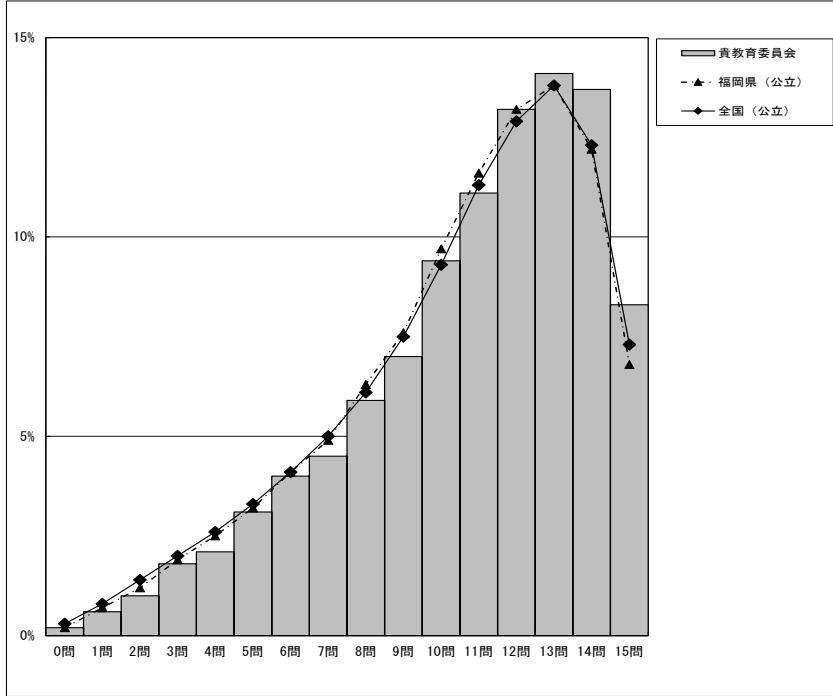
令和5年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [国語]  
福岡市教育委員会一生徒

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
福岡市教育委員会	11,562	10.7 / 15	71	11.0	3.3
福岡県(公立)	39,798	10.5 / 15	70	11.0	3.3
全国(公立)	892,738	10.5 / 15	69.8	11.0	3.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合(%)		
	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)	
15問	962	8.3	6.8	7.3
14問	1,584	13.7	12.2	12.3
△ 13問	1,632	14.1	13.8	13.8
12問	1,522	13.2	13.2	12.9
◇ 11問	1,278	11.1	11.6	11.3
10問	1,088	9.4	9.7	9.3
▽ 9問	810	7.0	7.6	7.5
8問	679	5.9	6.3	6.1
7問	517	4.5	4.9	5.0
6問	464	4.0	4.1	4.1
5問	359	3.1	3.2	3.3
4問	245	2.1	2.5	2.6
3問	207	1.8	1.9	2.0
2問	117	1.0	1.2	1.4
1問	75	0.6	0.7	0.8
0問	23	0.2	0.2	0.3

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	13.0問	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	11.0問	11.0問	11.0問
▽ 第1四分位	9.0問	8.0問	8.0問

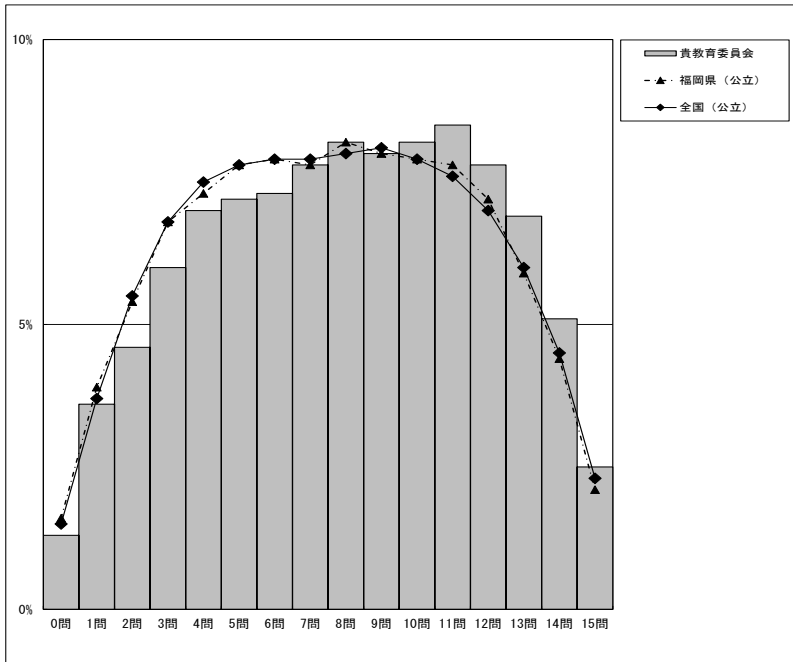
令和5年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 [数学]  
福岡市教育委員会一生徒

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
福岡市教育委員会	11,562	8.0 / 15	53	8.0	3.9
福岡県(公立)	39,801	7.6 / 15	51	8.0	3.9
全国(公立)	893,114	7.6 / 15	51.0	8.0	3.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合(%)		
	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)	
15問	291	2.5	2.1	2.3
14問	584	5.1	4.4	4.5
13問	799	6.9	5.9	6.0
12問	905	7.8	7.2	7.0
△ 11問	983	8.5	7.8	7.6
10問	949	8.2	7.9	7.9
9問	924	8.0	8.0	8.1
◇ 8問	952	8.2	8.2	8.0
7問	904	7.8	7.8	7.9
6問	848	7.3	7.9	7.9
▽ 5問	832	7.2	7.8	7.8
4問	812	7.0	7.3	7.5
3問	693	6.0	6.8	6.8
2問	528	4.6	5.4	5.5
1問	411	3.6	3.9	3.7
0問	147	1.3	1.6	1.5

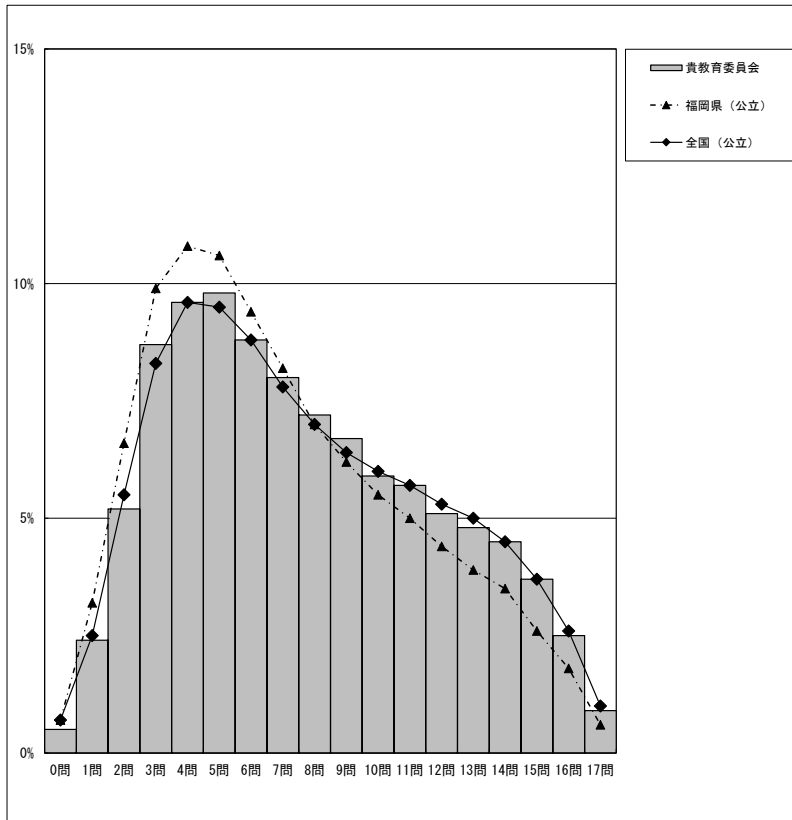
※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	8.0問	8.0問	8.0問
▽ 第1四分位	5.0問	4.0問	4.0問

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
福岡市教育委員会	11,567	7.7 / 17	45	7.0	4.1
福岡県(公立)	39,825	7.1 / 17	42	6.0	4.0
全国(公立)	893,528	7.7 / 17	45.6	7.0	4.2

正答数分布グラフ (横軸: 正答数 縦軸: 割合)



正答数集計値				
正答数	生徒数	割合(%)		
		貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)
17問	107	0.9	0.6	1.0
16問	286	2.5	1.8	2.6
15問	430	3.7	2.6	3.7
14問	523	4.5	3.5	4.5
13問	559	4.8	3.9	5.0
12問	593	5.1	4.4	5.3
△ 11問	664	5.7	5.0	5.7
10問	678	5.9	5.5	6.0
9問	772	6.7	6.2	6.4
8問	838	7.2	7.0	7.0
◇ 7問	923	8.0	8.2	7.8
6問	1,017	8.8	9.4	8.8
5問	1,131	9.8	10.6	9.5
▽ 4問	1,112	9.6	10.8	9.6
3問	1,001	8.7	9.9	8.3
2問	597	5.2	6.6	5.5
1問	282	2.4	3.2	2.5
0問	54	0.5	0.7	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴教育委員会	福岡県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	11.0問	10.0問	11.0問
◇ 第2四分位	7.0問	6.0問	7.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問	4.0問



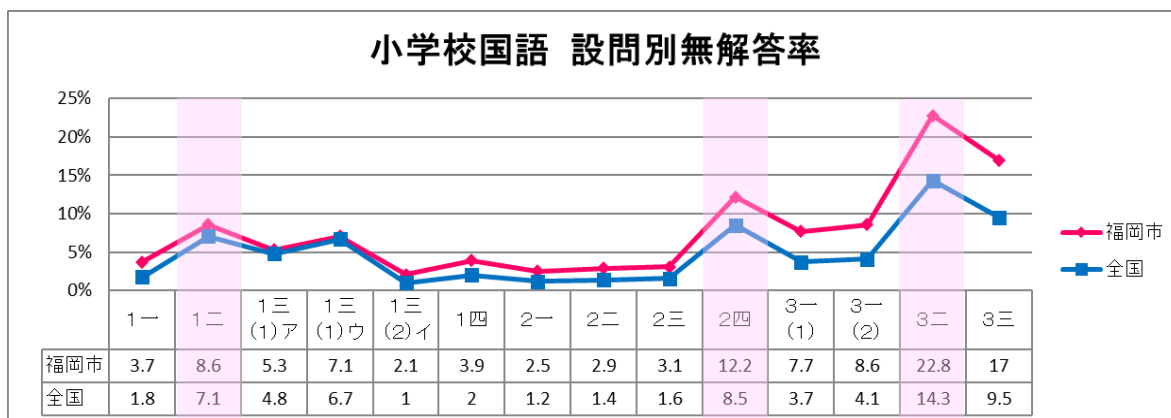
### (3) 小学校国語の調査結果について

#### ①内容及び観点ごとの調査結果

全国平均と比較して、     上回っている      下回っている

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			福岡市	全国(公立)	
全体			14	65	67.2
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	70.4	71.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	62.1	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	67.6	72.6
		B 書くこと	1	25.7	26.7
C 読むこと		3	69.4	71.2	
評価の観点	知識・技能	7	68.0	68.9	
	思考・判断・表現	7	62.4	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	9	71.9	73.6	
	短答式	2	63.0	62.7	
	記述式	3	46.6	51.1	

#### ②無解答率



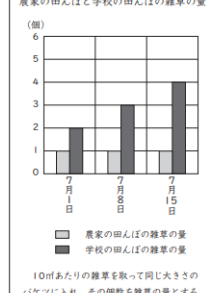
※薄ピンクの網掛け記述式の問題

#### ③平均正答率が高かった問題

問題番号	問題の概要	福岡市	全国	差
1三	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したものと適切なものを選択する(くらべて)	92.0	93.1	-1.1
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	88.7	90.0	-1.3

◆問題番号2一は、「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる」ことが出題の趣旨であり、【資料1】運動について書かれた本の一部、【資料2】運動について書かれたパンフレットのページを読み、運動の効果や種類について書かれていると内容を捉えることができている。また、誤答のうち4%は内容のどちらか一つは捉えることができている。

④課題がみられた問題とその分析

問題番号	問題番号の概要
1二	問題点と解決方法を書く
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報と情報との関係について理解すること</li> <li>複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり、書き方を工夫したりすること</li> </ul>	
<p>【川村さんの文章】</p> <p>学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法</p> <p>今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。</p> <p>5月下旬に学校の田んぼにええを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、<u>ア</u>いがい雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと<u>イ</u>くらべてみました。<u>ウ</u>きかんは7月1日から15日までです。</p> <p>右のグラフは、その結果を <u>エ</u>もとにして作ったものです。</p>  <p>このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。</p>	<p>二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あなただけが川村さんなら、学校での米作りの内容を入れる内容を書きましょう。</p> <p>【カード①】</p> <p>6月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。</li> <li>このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいきょうするのではないかと心配だ。</li> </ul> <p>【カード②】</p> <p>6月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑草取りをしているが、<u>農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。</u>どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。</li> <li>調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。</li> <li>調査きかん 7月1日～15日</li> </ul> <p>【カード③】</p> <p>7月19日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが<u>遠いついていないと</u>考えられる。</li> <li>雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。</li> </ul> <p>【カード④】</p> <p>7月20日</p> <p>【農家の石山さんのお話】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。</li> <li>雑草が多いと、いねが病気になることがある。</li> <li>農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。</li> </ul> <p>【カード⑤】</p> <p>7月21日</p> <p>【学校のできる解決方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雑草取りの回数を増やす。</li> <li>雑草取りの人数を増やす。</li> </ul>
<p>正答率 全国 26.7% 福岡市 25.7%</p> <p>【正答例】</p> <p>グラフから分かるように、<u>学校の田んぼでは雑草が増え続けていた</u>ため、<u>雑草に栄養をとられてしゅうかくが減ってしまうかもしれない</u>という問題点がありました。そこで、<u>雑草取りの回数と人数を増やすこと</u>にしました。</p>	<p>【川村さんの考え】</p> <p>雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。</p> <p>「条件」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校のコメ作りの問題点については、<b>グラフとカード④</b>のそれぞれから分かることを書くこと。</li> <li>○問題点の解決方法については、<b>カード⑤</b>をもとにして書くこと。</li> </ul> <p>どちらか1つしか書けない</p>

問題番号	問題番号の概要
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く

**課題**


・複数の資料を読んで理解したことを関連付けながら、自分の考えをまとめること

健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。(99字)

**【資料2】**  
運動で健康な体をつくらう！  
運動には、持久力のある動物の足跡に、筋肉の収縮と弛緩の両方があります。また、運動によって骨格が強化され、骨密度も高くなります。

どんな運動をするの？  
運動をする際、自分に合った運動を選んで行うことが大切です。また、運動の種類には、次のように、軽いジョギングなどの持久力を高める運動や、縄跳びなどの筋力を高める運動があります。そのほかにも、体のやわらかさを高める運動や、たくみな動きを高める運動などがあります。

このような運動は日常生活の中にもあります。例えば、休みの日の散歩や、犬の散歩、階段の上り下り、掃除機などです。日常生活の中で体を動かす機会をつくらなくてはいけません。




**【資料1】**  
運動は、体力の向上につながります。そのため、子供からお年寄りまで過度に運動をすることが大切だと書かれています。私たちが日々行っている運動には、いくつかの種類があります。例えば、体にたくさんの筋力を取り入れながら続けることで持久力を高める運動や、瞬間的に大きな力を出すことで筋肉の力を高める運動などです。

生活の中に自分が好きな運動を取り入れれば、続けて取り組むことができます。その際は、目的に応じた運動を選ぶとともに、健康状態や体力に合わせて自分のペースで行うことが大切です。

**【資料3】**  
栄養素の働き  
規則正しく食事をするように、毎日の生活に慣れ、必要な栄養素をしっかりと摂ることが大切です。ただし、同じものばかりを食べると栄養が偏り、栄養不足になってしまいます。つかれやすくなるので、栄養素の働きによって、次のように、主に三つのグループに分けることができます。

炭水化物は、主にエネルギー源になります。肉や魚などは、主に体を動かすために使われます。野菜や果物などは、主に体の調子を整えるために使われます。



〇〇〇(条件)  
資料を読んで、運動と食事の両方について分かったことを書くこと。  
分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書くこと。  
八十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

(正答例)  
健康に過ごすためには、自分に合った運動をしたり、バランスのよい食事をとったりすることが大切だと分かりました。わたしは、これから、縄とびを続けて持久力を高めたり、苦手な野菜も食べたりしようと思います。(99字)

**正答率**

全国 56.4%

福岡市 52.8%

- (正答の条件)  
次の条件を満たして解答している。
- ① 資料を読んで分かったことについて、以下のことを書いている。
    - a 運動について分かったこと
    - b 食事について分かったこと
  - ② 分かったことをもとに、これから自分ができそうなことを書いている。
  - ③ 80字以上、100字以内で書いている。

**誤答で多かった類型 【解答類型5 全国 12.1% 11.0%】**  
条件①b、②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの  
\*条件③を満たしているかどうかは不問とする。

(例) ・好きなものばかり食べると、栄養がかたよってしまい、つかれやすくなるので、バランスよく食べることが大切だと分かりました。だから、わたしは、これからも、お米やお肉や野菜をバランスよく食べていきたいです。(99字)  
・ジョギングをするときん力を高めることができ、肉やたまごを食べると体をつくるもとになってきん肉がつくことが分かりました。ぼくは、きん肉をつけたいので、ジョギングをしたり肉やたまごを食べたりします。(97字)

運動について分かったことを取り上げなかった児童や運動について分かったことを取り上げようとしたが適切に取り上げることができなかった児童もいたと考えられます。

自分ができそうなことは書けているため、健康に過ごすために自分ができそうなことを考えるという読む目的を意識することはできている。

- ⑤授業で大切にしたいこと
- ☆単一の情報のみに基づくのではなく、複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討すること
  - ☆書くことにおいて、相手・目的意識をもたせ、書き表し方を工夫すること
- これらのことが必要となる学習課題や学習活動の設定が大切である。

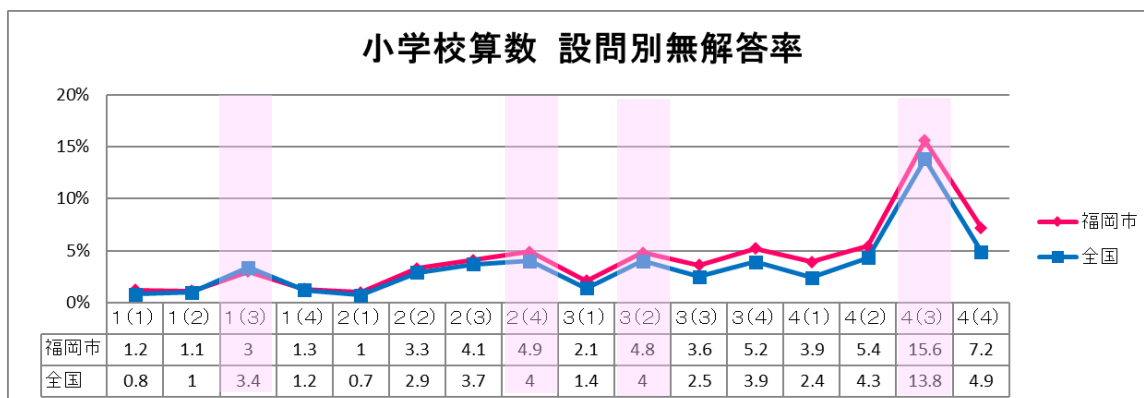
#### (4) 小学校算数の調査結果について

##### ①領域及び観点ごとの調査結果

全国平均と比較して、   上回っている   下回っている

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			福岡市	全国(公立)
全体		16	62	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	66.7	67.3
	B 図形	4	47.5	48.2
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	71.7	70.9
	D データの活用	3	64.1	65.5
評価の観点	知識・技能	9	67.1	67.2
	思考・判断・表現	7	55.6	56.5
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	5	57.9	57.7
	短答式	7	74.5	74.7
	記述式	4	45.5	47.3

##### ②無解答率



※薄ピンクの網掛け記述式の問題

##### ③平均正答率が高かった問題

問題番号	問題の概要	福岡市	全国	差
1 (1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	93.4	93.5	-0.1
1 (2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	89.2	88.5	+0.7

◆問題番号1 (1) (2) は、「伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる」「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる」ことが出題の趣旨である。

④課題がみられた問題とその分析

問題番号	問題番号の概要
2 (3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く

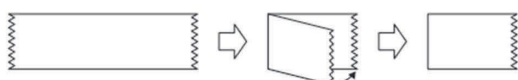
**課題**

- ・ 図形の構成の仕方を観察して図形について判断すること

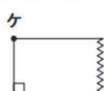
(3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

**【えいたさんのつくり方】**

① 下の図のように、テープを折って、下の直線が重なるようにします。



② 右の図のように、折り目のはしを点ケとします。



③ 折って重ねたまま、点ケを通るななめの直線で切ります。



④ 開くと三角形ができました。

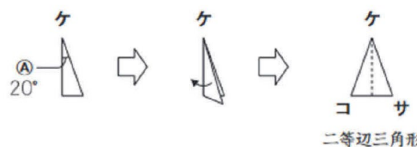


ゆいなさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の③の図で、下のⒶの角の大きさをそれぞれちがう大きさにしました。



ゆいな

私は、Ⓐの角の大きさを20°にしました。切って開いた三角形ケコサは、二等辺三角形になりました。



わたる

私は、切って開いた三角形を正三角形にするために、Ⓐの角の大きさをゆいなさんとちがう大きさにして切りました。

切って開いた三角形を正三角形にするには、Ⓐの角の大きさを何度になればよいですか。  
答えを書きましょう。

**(正答) 30(度)**

正答率  
全国 24.9%  
福岡市 24.5%

誤答で多かった類型 60 (度)

全国 33.2% 福岡市 32.1%

切って開く前の角であることに着目できず、正三角形の一つの角の大きさを解答している。

目的の図形をつくるための操作の見通しを立てることが大切である。

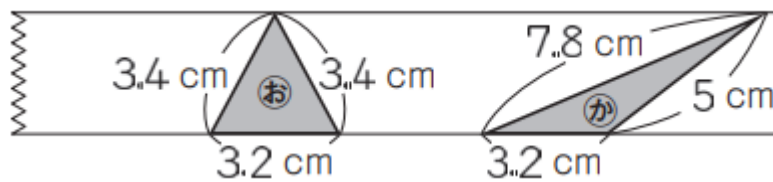
問題番号	問題番号の概要
2 (4)	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く

### 課題

- ・ 図形を構成する要素などに着目して図形の性質や計量について考察すること
- ・ 問題解決の過程や結果を振り返って考察すること

㊦と㊧の三角形の面積について、どのようなことが分かりますか。

1つ選んで、選んだわけを言葉や数を使って書きましょう。



正答率  
 全国 20.8%  
 福岡市 15.9%

### [正答例]

3 三角形の面積は、底辺×高さ÷2で求めることができます。㊦と㊧の底辺は、どちらも3.2cmなので等しいです。㊦と㊧の高さは、テープのはばがどこも同じ長さなので等しいです。だから㊦と㊧の面積は等しいです。

- 1 ㊦の面積の方が大きい。
- 2 ㊧の面積の方が大きい。(誤答が多い)
- 3 ㊦と㊧の面積は等しい。
- 4 ㊦と㊧の面積は、このままでは比べることができない。(誤答が多い)

誤答で多かった類型 15.8%

【番号】 4

【わけ】 2つの三角形の高さが同じであるということに気づくことができていないか、具体的な数値が示されていないので比べることができないと判断している

具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることに課題がある。

### ⑤授業で大切にしたいこと

☆観察や構成などの活動を通して図形の意味や性質について考察すること

三角形や平行四辺形の面積の公式について理解を深め、底辺の長さが等しいとき高さの具体的な長さが分からなくても、高さが等しいと分かれば三角形や平行四辺形の面積は等しいと実感を伴って判断できるようにすることが大切である。

## (5) 中学校国語の調査結果について

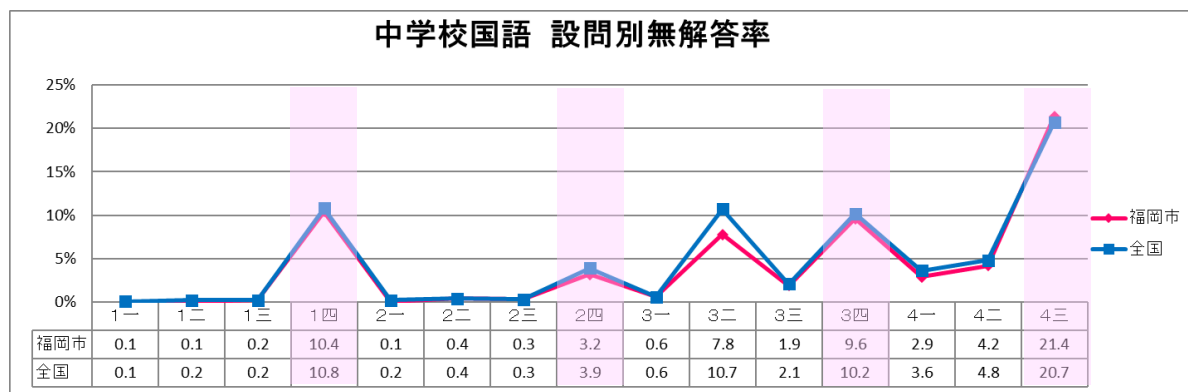
### ①領域及び観点ごとの調査結果

全国平均と比較して、     上回っている

     下回っている

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			福岡市	全国(公立)	
全体			15	71	69.8
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	73.8	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	64.3	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	77.0	74.7
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	83.3	82.2
		B 書くこと	2	63.4	63.2
		C 読むこと	4	64.2	63.7
評価の観点	知識・技能	7	72.5	69.4	
	思考・判断・表現	9	70.4	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	7	73.9	73.1	
	短答式	4	69.7	65.6	
	記述式	4	68.8	68.0	

### ②無解答率



※薄ピンクの網掛け記述式の問題

### ③平均正答率が高かった問題

問題番号	問題の概要	福岡市	全国	差
1 (1)	インタビューの前に準備したメモについて説明した ものとして適切なものを選択する	88.3	87.5	+0.8
2 (1)	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	92.5	91.1	+1.4
4 (1)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	88.8	82.5	+6.3

◆問題番号1(1)は、「目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる」ことが出題の趣旨であり、何のために、誰を対象に、どのような状況で話を聞くのかを考え、事前に準備、検討したメモの内容を理解できている。

④課題がみられた問題とその分析

問題番号	問題番号の概要
3 (1)	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する

課題

- ・調べたことなどをレポートにまとめて書く場面において、読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること

4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。

3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。

2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。

1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。

— 山田さんは、「1. はじめに」の波線部「もち」を「もったため」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

「判じ絵」について

1. はじめに  
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもったため、詳しく調べることにした。

2. 調査方法  
学校図書館、地域の図書館、インターネットで調査を行った。

3. 調査結果  
■「判じ絵」とは何か  
「判じ絵」とは、描かれている絵や図案などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。  
□A) ただし、【調2】のように、描かれているもの【調3】が本来と意味しているものと異なるため、解読する際には、「判じ絵」のこと、つまり、知っていることまでもに「読み替えて考える」ことが必要になる。□B) 調べてみれば、なぜなぜでアイズのようなもののである。□C) また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代末期から伝わっていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。□D) そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮城絵とも呼ばれるようになったとして定着していったという。□E) さらに明治に神代が考へて、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのアイズ番組などで見ることもできる。  
■「判じ絵」の解読の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。  
【調2】は、判じ絵に目を留められている、描かれているものを組み合わせて解読すると、あの「スズメ」という意味になる。

3 山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

正答率  
全国 54.3%  
福岡市 54.4%

1. はじめに

学校図書館の本で「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのか**興味をもったため**、詳しく調べることにした。

正答 4

誤答 3 直前の「興味」という単語に惑わされている。

⑤授業で大切にしたいこと

☆読み手の立場に立ち、叙述の仕方などを確かめて文章を整えること

書いた文章を推敲する際には、伝えようとするものが伝わるように、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるように指導することが大切である。「指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。」や「原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。」などとの関連を図り、学習した知識を観点として文章を読み返すように指導することが有効である。



(6) 中学校数学の調査結果について

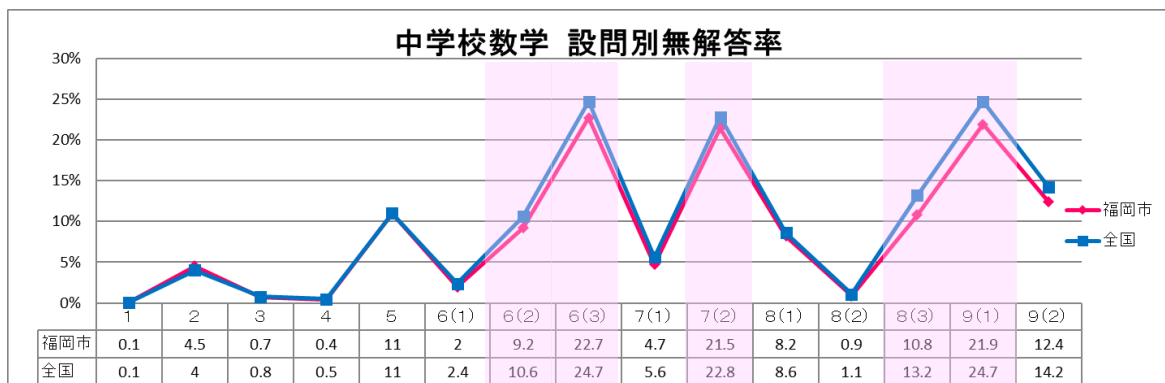
①領域及び観点ごとの調査結果

全国平均と比較して、     上回っている

     下回っている

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			福岡市	全国(公立)
全体		15	53	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	66.4	63.0
	B 図形	3	33.5	33.2
	C 関数	4	53.4	51.2
	D データの活用	3	50.9	48.5
評価の観点	知識・技能	10	57.8	55.7
	思考・判断・表現	5	44.3	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	4	48.6	45.3
	短答式	6	63.9	62.6
	記述式	5	44.3	41.6

②無解答



※薄ピンクの網掛け記述式の問題

③平均正答率が高かった問題

問題番号	問題の概要	福岡市	全国	差
2	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	51.7	46.1	+5.6
6 (1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかける数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	89.6	88.9	+0.7
7 (1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	76.5	65.7	+10.8

◆問題番号7(1)は、「四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる」ことが問題の趣旨であり、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取る活動を通して四分位範囲について理解できている。

④課題がみられた問題とその分析

問題番号	問題番号の概要
9 (2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く

**課題**

- ・証明に用いた前提や根拠を整理すること
- ・図形の性質を論理的に考察し表現すること

**正答率**

全国 37.0%

福岡市 36.9%

図7

$\triangle ABC \equiv \triangle AEF$ である  
ことは変えずに、二等辺三角形  
ではない三角形に変えた。

図8

BC // AFであることは、次のように証明できます。

**証明1**

$\triangle ABC \equiv \triangle AEF$ より、合同な図形の対応する辺と角はそれぞれ等しいから、

AB = AE .....①

$\angle ABC = \angle AEF$  .....②

$\triangle AEF$ において、二等辺三角形の底角は等しいから、  
 $\angle EAF = \angle AEF$  .....③

②、③より、  
 $\angle ABC = \angle EAF$  .....④

また、①より、 $\triangle ABE$ は二等辺三角形である。  
二等辺三角形の底角は等しいから、  
 $\angle ABE = \angle AEB$  .....⑤

$\angle ABE = \angle ABC$ だから、④、⑤より、  
 $\angle EAF = \angle AEB$

よって、錯角が等しいから、  
BC // AF

優奈さんは、図8でBC // AFとならないのは、前ページの証明1の①から⑤のどれかが成り立たないからだと考えました。

図8のような二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には $\angle EAF = \angle AEB$ とならないため、BC // AFとなりません。このことは、証明1をもとに、次のように説明することができます。

二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の I が成り立たないから、II が成り立たない。よって、 $\angle EAF = \angle AEB$ とならないから、BC // AFとならない。

上の I には証明1の①、②、③のどれか1つが、II には証明1の④、⑤のどちらか1つが当てはまります。I、II に当てはまるものをそれぞれ書きなさい。

**誤答** Iに③と解答し、IIに⑤と解答しているもの 16.6%

二等辺三角形ではない合同な2つの三角形の場合には、証明1の③が成り立たないから、④が成り立たないと読み取ることができなかつた。

⑤授業で大切にしたいこと

☆図形 身の回りにある事象を図形として捉え考察する活動

証明を振り返り図形の性質を論理的に考察する活動

☆問題解決の過程や結果を振り返って考察すること

一旦解決された問題やその解決課程を振り返り、問題の条件を見直したり、共通する条件や図形の性質を見いだしたりすることを通して、統合的・発展的に考察できるようにすることが大切である。

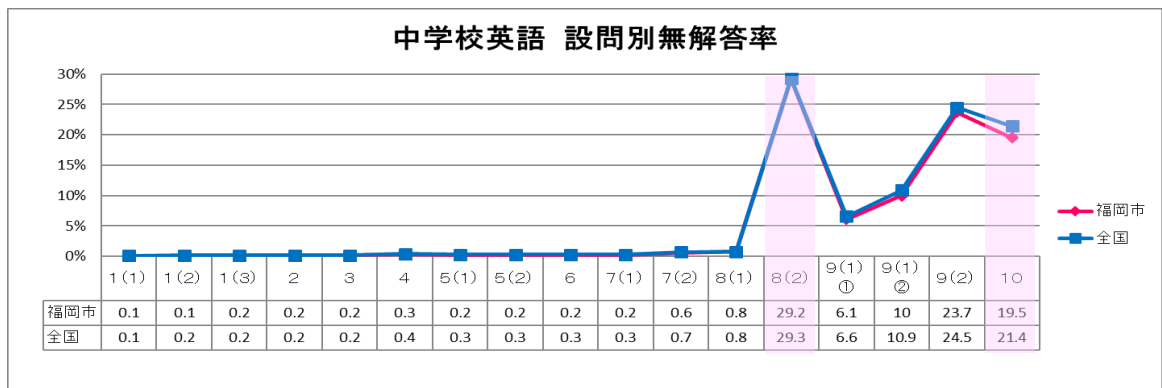
(7) 中学校英語（聞くこと・読むこと・書くこと）の調査結果について

①領域及び観点ごとの調査結果

全国平均と比較して、   上回っている   下回っている

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			福岡市	全国(公立)
全体			45	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	56.6	58.4
	(2) 読むこと	6	52.5	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	4		
	(4) 話すこと [発表]	1		
	(5) 書くこと	5	23.8	23.4
評価の観点	知識・技能	9	52.2	51.5
	思考・判断・表現	8	37.9	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	12	54.5	54.8
	短答式	3	31.0	30.1
	記述式	2	13.1	13.5

②無解答率 ※「話すこと」を除く




※薄ピンクの網掛け記述式の問題

③平均正答率が高かった問題

問題番号	問題の概要	福岡市	全国	差
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	78.6	79.0	-0.4
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	71.0	64.5	+6.5

◆問題番号5(2)は、「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる」ことが出題の趣旨であり、IやWeを主語にした経験や事実を表す英文と、考えを伝える助動詞 should に着目し、英文の内容を区別することができる。

#### ④課題がみられた問題とその分析

問題番号	問題番号の概要
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く
<div style="border: 2px solid pink; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体を通して読み、情報の中から書き手が最も伝えたいことは何かを判断して捉えること</li> </ul> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; width: 60%;"> <p>Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets.</p>  <p style="border: 1px solid red; padding: 2px;">As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid pink; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>正答率</b></p> <p>全国 19.5%</p> <p>福岡市 18.3%</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>正答の条件</b></p> <p>① 書き手の意見に対する自分の考えを書いている</p> <p>② ①の理由を書いている</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>条件①を満たし、条件②を満たさないで解答している 30.4%</p> </div> </div> </div> <p>どのようなことを書けば理由になるのかが分かっていないことや理由を書くために必要な表現が身につけていないことが考えられる。必要な表現に関しては、語や文法事項の誤りがみられた6.4%も含めて対策する必要がある。</p>	
問題番号	問題番号の概要
2	環境問題についてのプレゼンテーションを聞き、話し手の意見に対する自分の考えとその理由を伝える
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="width: 60%;"> <p>(スクリプト)</p> <p>Do you buy plastic bags at the store? Or, do you use eco bags? Look at this picture. There are many plastic bags in the sea. It is a serious problem today. Now, look at this. I was really surprised to see this because over 25 % of people in Japan buy plastic bags at stores. In New Zealand, stores do not sell plastic bags and we take eco bags. Some people may say plastic bags are becoming more eco-friendly, but I recommend stores in Japan should stop selling plastic bags. What do you think?</p> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid pink; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>正答率</b></p> <p>全国 4.2% 福岡市 3.8%</p> </div> </div> </div>	

#### ⑤授業で大切にしたいこと

- ☆聞く、読む、書く、話す（やり取り・発表）など複数の領域を統合した言語活動を位置づけること
- 相手の意見を理解する（要点を捉える）指導、相手の意見に対する自分の考えとその理由を書く指導、文法事項や発話の正確さを高める指導を統合する。

### 3 児童質問紙及び学校質問紙調査の結果について

#### (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の取組状況

##### ①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

(学校質問紙調査と児童生徒質問紙調査の比較)

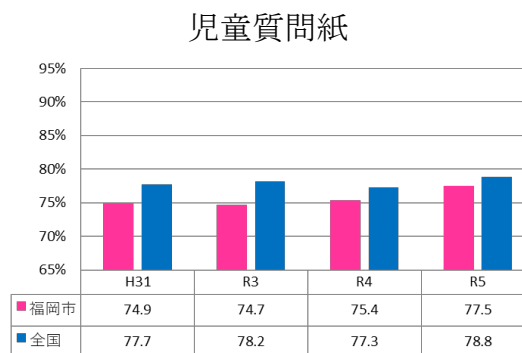
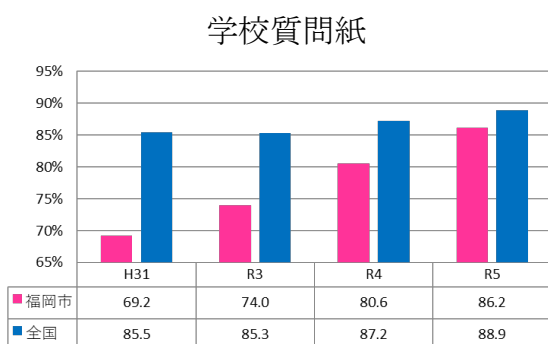
##### ・学校質問紙（小中ともに 26）

調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

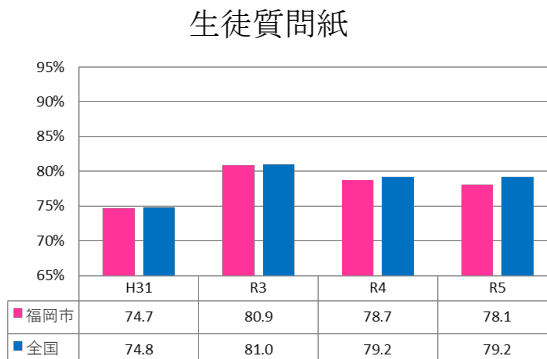
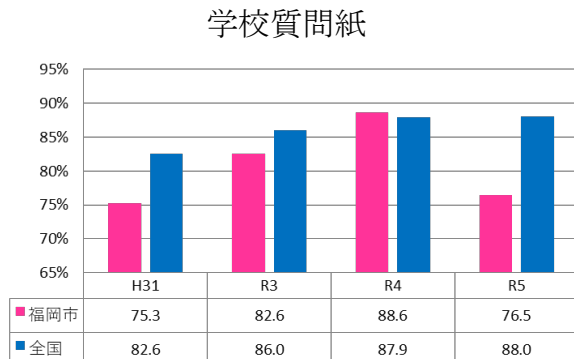
##### ・児童生徒質問紙（小 33、中 37）

5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

#### 【小学校】



#### 【中学校】



- ◆学校質問紙 26 の「調査対象学年の児童（生徒）は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか」については、小学校は年々増加傾向にあり、全国との差は縮小している。中学校においては、全国よりも大きく下回った。
- ◆中学校における学校質問紙 26 の肯定回答率の内訳は「そう思う」が福岡市 4.4%、全国 19.4%、「どちらかといえばそう思う」が福岡市 72.1%、全国 68.8%となっており、「そう思う」の回答が極端に少なかった。
- ◆児童生徒質問紙 33、37 の「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」については、小中共にわずかに全国を下回っている。中学校においては学校質問紙 26 との差が僅差なことから、教師と生徒の認識が一致しているといえる。

・学校質問紙（小中ともに 33）

調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

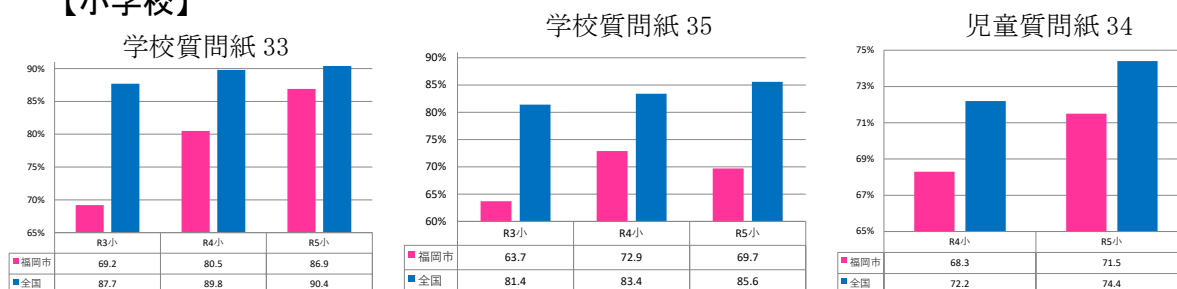
・学校質問紙（小中ともに 35）

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか

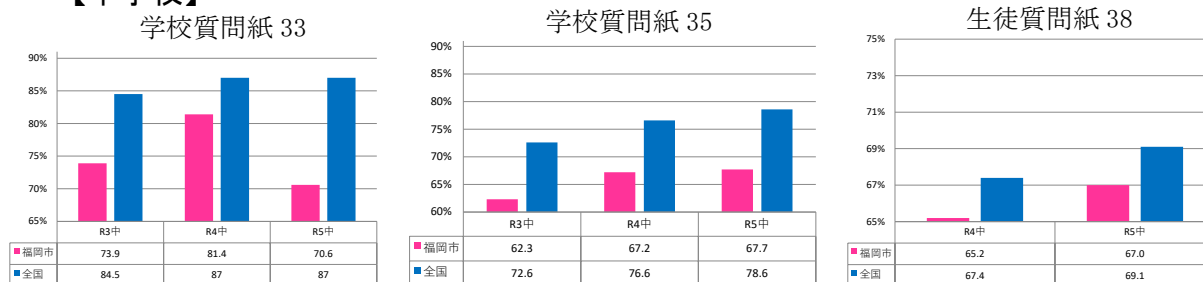
・児童生徒質問紙（小 34、中 38）

5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

【小学校】



【中学校】



◆学校質問紙 33 の「調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか」については、R5 年度、小学校は増加し、全国との差は年々縮小している。しかし、中学校は 10.8%減少し、全国との差が拡大している。

◆学校質問紙 35 の「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか」については、小中ともに全国との差が増加している。

◆児童生徒質問紙「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」については、全国との差が小学校-2.9、中学校-2.1 となり、R4 年度より差は縮小傾向にある。

・学校質問紙（小中ともに27）

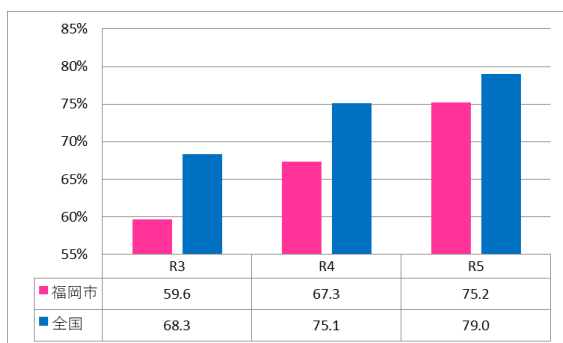
調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか

・児童生徒質問紙（小32、中36）

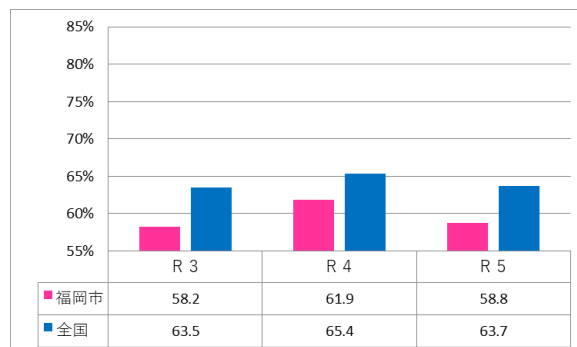
5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

【小学校】

学校質問紙 27

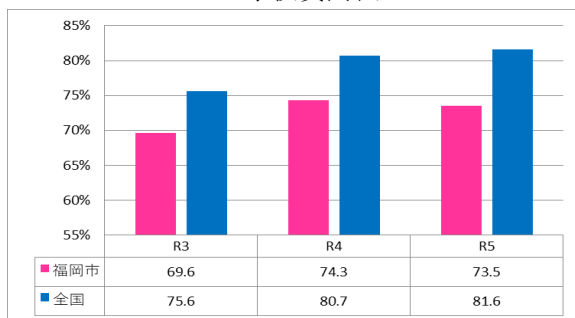


児童質問紙 32

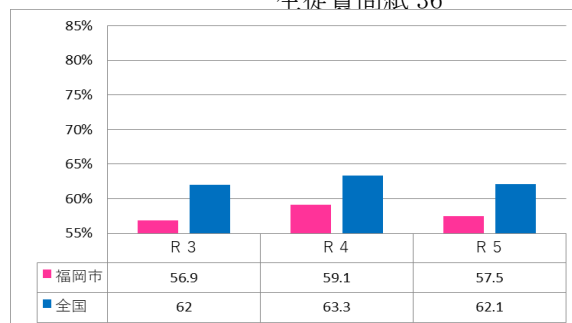


【中学校】

学校質問紙 27



生徒質問紙 36



- ◆学校質問紙について、小学校は増加傾向にあり、中学校は70%以上を維持している。
- ◆児童生徒質問紙に関しては、小中ともに全国値同様、R4年度を下回っている。

②個別最適な学び（個に応じた指導）・協働的な学びに関する状況

・学校質問紙（小中ともに31）

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習指導において、生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか

・学校質問紙（小中ともに32）

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

	福岡市	全国	全国との差		福岡市	全国	全国との差
小31	86.2	93.1	-6.9	中31	88.2	90.9	-2.7
小32	89.0	94.2	-5.2	中32	88.2	94.2	-6

## (2) 小学校教育と中学校教育の連携

### ・学校質問紙（小 67、中 75）

前年度までに、近隣等の小中学校と教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか

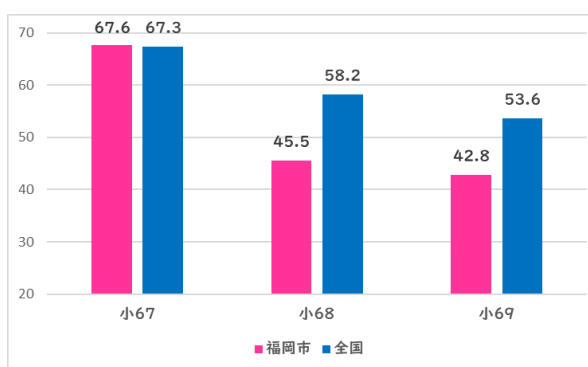
### ・学校質問紙（小 68、中 76）

前年度までに、近隣等の小中学校と授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか

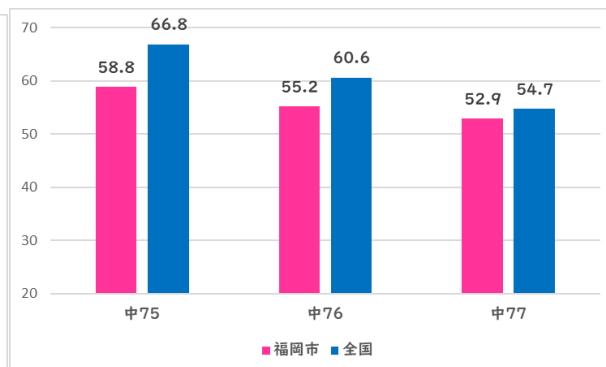
### ・学校質問紙（小 69、中 77）

令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果について近隣等の小中学校と成果と課題を共有しましたか

【小学校】



【中学校】



- ◆学校質問紙（小 67、中 75）について、コロナ禍で充分できていなかったことが改善され、増加している。
- ◆学校質問紙（小 68、中 76 や小 69、中 77）を小中間で比較すると、取組状況に関して認識に差があることが読み取れる。

## (3) 学習習慣・生活習慣

学校質問紙 赤文字：全国より下回っている

○13 〈13〉 一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行った。			
	福岡市	福岡県	全国
小	100	98.9	98.9
中	100	99.4	98.3
○39 〈39〉 学級活動の授業を通して、学級での話し合いを生かして意思決定できる指導を行っている。（「よくしている」「どちらかといえば、している」の回答割合の合計）			
小	87.6	92.5	93.1
中	92.6	91.1	92.0
○12 〈12〉 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた。			
小	99.3	97.2	97.0
中	94.1	95.9	96.1

- ◆学校質問紙において、小中ともに、肯定回答率 100%である。各学校において、「自己有用感」の育成にもつながる取組が推進されていることがわかる。



児童生徒質問紙

○13 〈13〉 自分と違う意見について考えるのは楽しい。			
	福岡市	福岡県	全国
小	75.9	75.0	76.5
中	83.6	76.8	77.6
○16 〈16〉 家で自分で・計画を立てて勉強している。			
小	67.8	67.2	70.7
中	51.6	52.0	55.0
○17 〈17〉 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか。 1時間以上の回答割合			
小	56.6	53.5	57.1
中	65.4	61.6	65.8

◆児童生徒質問紙 16、17 より、家庭で自分で計画を立て、学習を行う習慣が身につけていない。

(4) 自己有用感、幸福感等に関する状況

児童生徒質問紙

○4 〈4〉 自分には、よいところがある。			
	福岡市	福岡県	全国
小	84.2	82.3	83.5
中	83.6	80.4	80.0
○7 〈7〉 将来の夢や目標を持っている。			
小	81.0	81.3	81.5
中	69.5	67.1	66.3
○8 〈8〉 人が困っているときは、進んで助ける。			
小	91.9	91.4	91.6
中	88.2	88.0	88.1
○12 〈12〉 学校に行くのは楽しいと思う。			
小	86.0	84.6	85.3
中	83.6	81.2	81.8
○14 〈14〉 友達関係に満足している。			
小	89.7	90.3	90.3
中	89.3	88.8	88.7
○15 〈15〉 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか			
小	90.9	90.7	91.0
中	87.0	86.3	86.8
○26 〈30〉 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う			
小	77.4	76.4	76.8
中	62.6	64.6	63.9

## (5) 家庭との連携

### 学校質問紙

1 〈1〉 朝食を毎日食べているか。			
	福岡市	福岡県	全国
小	92.1	91.4	93.9
中	90.0	90.1	91.2
2 〈2〉 毎日、同じくらいの時刻に寝ているか。			
小	80.2	79.0	81.0
中	77.5	77.2	78.0
3 〈3〉 毎日、同じくらいの時刻に起きているか。			
小	90.1	89.6	90.5
中	92.1	91.7	91.3

## 4 今後の課題

- ◆複数の情報を活用すること、考えを発表すること  
全ての教科の学力調査結果や児童質問紙の結果から、複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表したりすることに課題がある。
- ◆主体的に学習に取り組む態度の更なる向上  
「無解答、無回答が多い。」「各教科で身に付けたことを様々な課題の解決に生かすことができるような機会の設定不足」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと回答している生徒が少ない。」

## 5 取組の方向性

### (1) 各学校での取組

- ◆全学年、全教科で、課題の共有、学力向上の推進。
- ◆中学校ブロックにおいて、目指す子ども像や課題を共有した上での共通実践。
- ◆学習指導要領で育成を目指す資質・能力の再確認、問題の分析。
- ◆達成不十分な指導事項を適用問題等で指導する「治療的指導」と指導事項の達成状況が不十分な内容について達成状況に導くために方策を構築し指導する「予防的指導」の双方を行う授業改善。

### (2) 教育委員会としての取組

- ◆指導主事訪問、各学校の実態にあった指導助言の徹底。
- ◆学力向上や授業改善につながる研修内容への見直し。
- ◆良い授業を参観しあい、教科の力を高めるための授業研究会の実施。